

たまには家族サービスをしようと思った休日。子どもの好きなスーパー内にあるゲームセンターへ。UFO キャッチャーやコインゲームにガチャガチャ。色鮮やかで子ども心をくすぐるもので囲まれています。楽しいそうにさわぐ声であふれ、いつもより甲高い声が興奮具合を感じさせます。到着するや否やお金を頂戴とズボンを引っ張るのでいくらかの小銭を渡して僕はとりあえずベンチへ。子どもの頃は10円玉でも遊べるゲームがあって100円使おうとおもったら大変だった記憶が頭をよぎります。しばらくボケーと座っていると駆け寄ってくる息子の姿が。よく見ると手にはカップ麺が…。僕の隣にちょこんと座りおなじみの時間待ったかと思えば蓋をあけて食べ始めました。ゲームをするのではなくそっち？蛙の子は蛙というけれどこんな場所で食べなくても。そもそもお湯はどうした？でも楽しいそうだからまあいいかと思ったところで目が…。ハッとし時計をみると遅刻しそう。何も夢にまで出てこなくていいのにと洗面所に急ぐ。今日の昼もカップ麺かなと考えながら普段よりちょっとだけ急ぐ慌ただしい朝(笑)。



○坂 拓磨
○37歳 3児の父!

まだ新入社員？ 坂(バン)が昼ごはんにつわる
エピソードを綴る 昼だけバンメシ!のコーナー



復活! わかったら答えを書いてハガキで応募! クイズのコーナー!

先月号の問題は「今日のおかずは?との質問に豆腐と答える都道府県はどこだ?」でした。私の得意の豆腐料理は冷奴ですがそれではおかずにはなりませんね。ご飯がすすむといえばやっぱり麻婆豆腐ではないでしょうか。話がそれてしまいましたが答えは京都府(今日、豆腐)。正解者の中から四万十市具同のU様、羽生小路のS様の2名様に天然水でつくりあげたふくらおかきの詰め合わせをプレゼント!おめでとうございます。ここで今月の問題「本を頼んでも全然届かない世界の都市ってどこ?」答えがわかった方は郵便番号787-0009住所 四万十市佐岡446 ドリーマー中村葬祭館かわら版5月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から2名様に夏野菜をつかった三輪素麺をプレゼント。ここでヒントです。必要のない方は読まないでくださいね。

「ほんがこない」がヒントアルヨ(笑)。答えがわかった方はドシドシご応募ください。お待ちしております。マンガや雑誌以外読む事のない横山奈歩がお届けしました(笑)。

五月の大型連休いかがが過ぎましたでしょうか?去年同様コロナ禍での休みを強いられ息苦しさを感じた方も多いのでは。各々が節度ある行動を取り三密にならないよう心がける事が重要といわれています。ですから、お天気のいい日にはピクニックに行ったり日光を浴びたり、川で水遊びをしたり、体を動かしストレス解消をはかりたいものです。お子様がいるご家庭は特にそうではないでしょうか。高知県は自然に恵まれた県ですから海や山が近くにありまます。こんなときだからこそ気づかされることありますね。

○佐竹 健作
○空手三段のお掃除好き



～ 会館だより ～

出勤してポットの電源を入れてお湯を沸かしインスタントコーヒーを飲む日課が、冷蔵庫の中からアイスコーヒーを取り出すようになる季節の到来です。日中、車に乗るとあまりの暑さにエアコンを入れてしまう日が!どちらかといえば暑さが苦手な体形なのでなおさらです(笑)。そんなことはさておき先日、会館周りの草抜きをしたのですが汗で服がびしょり。着替えが必要くらいです。これから先もっと暑くなることを考えて空調のついた服を購入しようか検討中です(笑)。



高野 香

毎月20日に
新聞折込
しています!!

ドリーマー中村葬祭館
これを知って!!のコーナー

家族葬って何?



○山本 良一
○年齢 54歳

家族葬という言葉を知ると、故人様の家族・親族のみで葬儀を行うお葬儀が思い浮かぶのではないのでしょうか。しかし、最近は葬儀の形が多様化されたことにより、家族葬が必ずしも身内のみでの葬儀を表すものではなくなっています。ご近所の方や親しい友人・知人が参列なさったり、ご葬儀を知った方への弔問は断らないケースなど様々な形で行われています。特に新型コロナウイルスが蔓延してからは、感染予防等の観点から家族葬という形を選択するケースが増えています。案内看板が出ていたのに家族葬?との質問をお受けすることがありますが、参列のため遠方から訪れる親族の為に出了した案内看板の可能性もあります。葬儀会社に確認をとるのがいいですね。



新しいカタチ



○高野 香
○年齢 50歳

お葬儀のカタチの多様化に伴い、死亡保険に注目が集まっています。掛金が手ごろで、支払われる保険金が葬儀にかかる費用を賄うこともあり、残された家族に迷惑をかけないようにと加入を検討する方が増えています。また、残された家族に迷惑をかけないための墓じまいも注目されています。離れた場所に住んでいるため墓参りが難しいことや、墓参りのための移動の負担などがその大きな理由となっています。そんな皆様のご要望に応えるべく私たちドリーマーでは葬儀のことだけでなく、死亡保険や墓じまいなどのご相談も承っております。お気軽にご相談ください。HPにも情報を掲載しています。

重要です!

1.もしもの時、あわてない為に事前にできる事

葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。料金はもちろんですが、会館や担当者の雰囲気を感じる絶好の機会ですから、疑問点があれば、なんでも質問してみましょう。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幡多弁を駆使して一生懸命ご説明します。親しみやすい人柄だとよく言って頂けるので安心してご相談ください。葬儀会社を比較して選択しておく。とても重要なポイントです。

2.いざ、その時がきてしまったら・・・

- ①.ドリーマーに電話(24時間対応しています) ⇒ ②.担当者との打ち合わせ(ご要望をお聞かせください) ⇒ ③.担当者が見積を作成(わかりやすく、ご説明します) **ここがポイント!**

この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させていただきます。ですから予定のご予算でお葬儀をして頂けます。安心して私達ドリーマーをお選びください。ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会して頂ければ割引等会員様特典がございます!まずはご相談を!

